

| | | | |
|----------------------------|--|----------|-----------------|
| プログラム名 (40字以内) | 環境DNAを用いた魚類調査プロジェクト | | |
| 団体名/所属 | 認定特定非営利活動法人アースウォッチ・ジャパン | | |
| 活動区分 | ボランティアなどの社会貢献活動、農林水産業などに関わる地域体験活動、フィールドワーク体験活動 | 希望する選考方法 | 先着順 |
| 募集人数 | 2組4名 (二人1組での作業となる) | 選考対象 | 大学院学生を含む |
| 活動方法 | オンラインを活用しつつ現地活動を行う | | |
| 参加者に求めるもの | 安全に配慮してフィールドワークを楽しむこと。専門的な知識やスキルは不要です。 | | |
| 活動期間 | 2024/7/15(火)～8/31(土)のうち任意の一日 | 主な活動予定場所 | 日本全国の海岸から希望する場所 |
| プログラム実施の目的 | 日本の周辺海域は、実は世界でも有数の生物多様性ホットスポットで、4,000種くらいの魚が生息していると言われていいます。しかし多様な魚がどのように日本沿岸に分布し、季節変動するのかについては、まだわかっていないことも多いのです。海の中で私たちは自由に動き回れませんが、そこを泳ぎ回る魚の調査は簡単ではないのがその理由です。また、調査の難しさは保全の難しさでもあります。温暖化をはじめとする地球環境の急激な変化が海に棲む生物に及ぼす影響が心配されていますが、それを知る方法がとて限られているのです。このプロジェクトの目的は3つ。一つ目は、最新の生物調査法「環境DNA」と市民の皆さんの力を借りることで、これまで誰もみたことのない解像度で「日本沿岸の魚の生物多様性」を観測すること。二つ目は、世界中の科学者が自由に利用できる生物多様性のデータベースを作ること。三つ目は、自分の手で身近な生態系の様子を知ること、日本沿岸域をどうやって保全・利用していこうか考える足がかりを作ることです。 | | |
| 具体的な内容(800字程度) | 調査候補地は、研究者から一覧で提示されますが、希望に応じて調整可能です。研究者から送付される調査キットを使って海水を採取・ろ過し、得られた試料を保存・封入して、研究者に発送します。 安全性に配慮しながら作業していただくため、調査協力者と2人1組で作業を行います。(個人差がありますが作業には2時間程度かかります) オンラインによる事前説明会(7月上旬に予定)やマニュアルで、詳しい方法を説明しますので、調査に関する特別な知識や技能はいりません。詳しくはプログラム解説書およびビデオマニュアルをご覧ください。 | | |
| 【総額】参加するための費用 | 3,000円+自宅から調査地の往復交通費 | | |
| 【内訳】参加するための費用(宿泊費) | 無 | | |
| 【内訳】参加するための費用(交通費) | 自宅から調査地の往復費用 | | |
| 【内訳】参加するための費用(その他) | 参加費3,000円 | | |
| 奨励金額(予定) | 活動終了後に算出 | | |
| 備考 | 過去の調査報告は、こちらからご覧いただけます。 https://www.earthwatch.jp/?page_id=235 | | |
| 活動に関する関係資料のダウンロードサイト | https://www.earthwatch.jp/?product=edna | | |
| 応募団体を紹介するウェブサイト等(団体で応募の場合) | https://www.earthwatch.jp | | |
| この企画に対する担当者(応募団体の参加の有無) | 参加しない | | |